

図書館だより

池田高等学校 辻校 2022年 7月号

読書感想文コーナーができました



第68回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

青少年読書感想文全国コンクール

青少年読書感想文全国コンクールの課題図書コーナーができました♪
『名文に学ぶ 授業に役立つ書くコツ! 読書感想文』など、参考になる本も一緒に展示しています。心に残ったその気持ち、伝えてみよう!

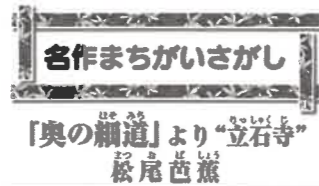
まちがいさがし

『奥の細道』
松尾 芭蕉【著】

松尾芭蕉が元禄2年5月27日(1689年7月13日)に出羽国(現在の山形市)の立石寺に参詣した際に詠んだ発句です。

5カ所ある間違いを探してね!

※正解は図書館に掲示しています



『奥の細道』の道中、松尾芭蕉は弟子の河合曾良と共に山形にある立石寺を訪れました。山の上のお堂の近辺は静けさに包まれていて、芭蕉は「閑かさや岩にしみ入る蝉の声」という有名な句を残しました。

下の2枚の絵の違いを5カ所見つけてください。



7月の開館日

開館日	1日(金)	5日(火)	7日(木)	11日(月)
	13日(水)	15日(金)	19日(火)	21日(木)
開館時間	10:15~16:45			

利用案内

~夏休みの図書館について~

【貸出期間】 7月15日(金)~9月7日(水)まで

【貸出冊数】 ひとり 5冊まで

返却期限日!

「あの夏、あの本を読んだなあ」...記憶に残る読書になりますように♪

おすすめ図書案内



『その扉をたたく音』 瀬尾 まいこ【著】

29歳、無職。

ミュージシャンへの夢を捨てきれないまま、怠惰な日々を送っていた宮路は、ある日、利用者向けの余興に訪れた老人ホームで、神がかったサックスの演奏を耳にする。音色の主は、ホームの介護士・渡部だった。

「神様」に出会った興奮に突き動かされた宮路はホームに通い始め、やがて入居者とも親しくなっていく――。

人生の行き止まりで立ちすくんでいる青年と、人生の最終コーナーに差し掛かった大人たちが奏でる感動長編。



『建築家になりたい君へ』 隈 研吾【著】

「ぼろい家」に育ち、建築家を夢見てアフリカやアメリカへ。難題だらけの仕事にどう挑むのか。

10歳で建築家を志し、国内外で多数のプロジェクトをてがげる今もっとも注目の建築家が建築知識満載で綴る10代へのメッセージ。

建築家とは、そしてこれからの建築とは――。



『クジラの骨と僕らの未来』 中村 玄【著】

小さな頃から生き物が大好きだった著者は、中学2年生の時、骨格見本に興味を持ち、死んでしまったペットのハムスターの墓あばきを思いつきました…。

ついに哺乳類最大のクジラの博士になるまで生き生きと描く。

クジラ博士となった研究者の骨からはじまったストーリー。

研究者になるためにはどうしたらいいの?

好きなことが仕事になるってこういうことだったんだ!

読書感想文にピッタリの図書がみなさんをお待ちしています♪ ぜひ会いに来てください!